

謹賀新年

～平成21年～

加東市長

山本 廣一



加東市議会議長

藤田 靖夫



平成二十一年の輝ける新春を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。
『牛の歩みも千里』

一歩一歩は牛のようにゆっくりであっても、たゆまぬ努力を続けることで、いずれは大きな成果を得ることができるという意味のことわざです。効率やスピードが優先される現代社会ですが、まちづくりにおいてはこの言葉どおり、一つひとつの積み重ねを大切にしていきたいと思えます。

加東市では、昨年、目指すまちの将来像を示した総合計画を策定しました。また、市の「音頭」、「応援歌」、「花」、「木」も皆様方からの公募により決定いたしました。これらのまちの指針・シンボルのもとに、「夢がきらめく 元気なまち 加東」の実現に向けて、皆様とともに確かな歩みを進めてまいります。

「丑」という文字は、二つのものが合わさる境を表すことから、新しいことが始まる「転機」の象徴でもあるそうです。時代は大きな変革の時を迎えています。加東市にとっても、培われてきた伝統や絆、地域の活力を礎として、新しい未来を切り開く年となることを願っています。

本年が皆様方にとりまして、更なる飛躍の年となることを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年明けましておめでとございませう。

皆様には希望あふれるさわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は議会活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

現在、我が国の社会経済情勢は少子高齢化の進展、経済活動の国際化、情報通信の高度化など急速に変化しており、行政需要は複雑多様化しております。

このような中において、昨年、これからの加東市のまちづくりの基本方針となる総合計画「みんなで作る加東 きらめきプラン」が策定されました。将来像である「ささえあい一人ひとりを大切にするふるさとづくり」の実現に向けて、皆様とともに精一杯取り組んでまいりたいと考えております。

地方分権の推進により、地方自治体の自主性が強まり、地方自治体はその個性を活かした特色のあるまちづくりが可能となりました。

議会議員としての責務と役割の重大さを自覚し、決意を新たに行財政改革の徹底と議会改革に邁進したいと思っております。

どうか本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。